

熊本県ではたらけん

Kumamoto

Prefectural Government

くまもと新時代、共に未来へ



わたしがひらく未来。



熊本県職員採用ガイド

採用試験に関する情報や、
本パンフレットの特設サイトも掲載しています。



Instagram

※掲載の情報は、令和6年度の取材情報に基づきます。

くまもと新時代、共に未来へ

Vision

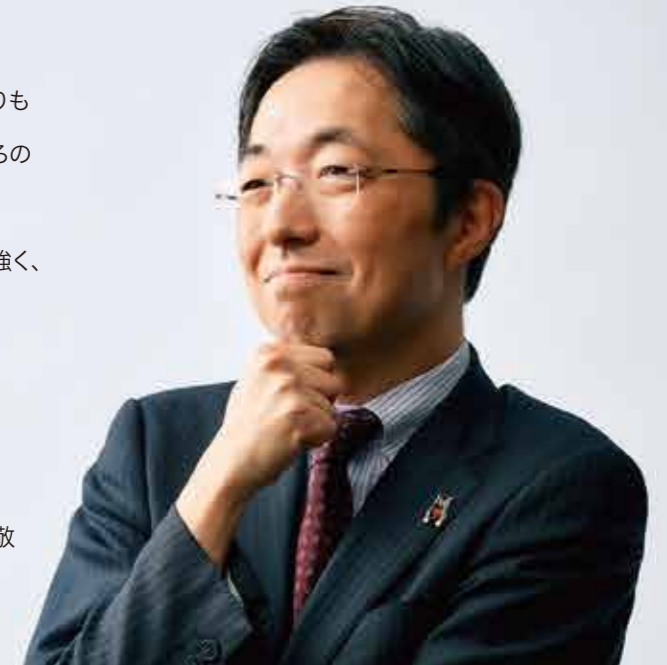
県民みんなが
安心して笑顔になり、
持続的で活力あふれる
熊本の未来を
共に創る

私たちの熊本は、美しい自然と歴史ある文化、そして何よりも熊本愛に溢れた人が育ち、日本一の底力を秘めた伸びしろのある県であると私は確信しています。

熊本の持つ力を最大限に引き出し、今のよき流れを、より強く、より大きくしていくために、みなさんの力が必要です。

私のモットーである「仕事は楽しく」の考え方のもと、何事にもチームで果敢にチャレンジし、熊本の未来への扉を一緒に開きましょう。

熊本県知事 木村 敬



くまもと新時代共創基本方針

1. こどもたちが笑顔で育つ熊本
2. 世界に開かれた活力あふれる熊本
3. いつまでも続く豊かな熊本
4. 県民の命、健康、安全・安心を守る

緑の流域治水の推進と五木村・相良村振興
水俣病問題への対応

基本方針はこちら



県庁の
しごと
の魅力

事務系



熊本県全域を対象に、
さまざまな分野で、
幅広い業務を経験できます。



動画で観る

行政・一般事務

知事公室 危機管理防災課 平成28年入庁

県が策定している「九州を支える広域防災拠点構想」の実現に向けた業務を行っています。大規模災害が発生した際、本県が九州における広域防災拠点としての役割を担い、被害が甚大な他の自治体を支援することを目的とした構想です。私は防災訓練や体制の構築に向けた検討などを行っています。令和6年能登半島地震の際には、すぐに情報収集を開始し、発災3日後には石川県に一時的に応援へ。県職員として使命感を持って仕事に取り組むことや、関係部署と連携することの重要性を再認識しました。県庁の仕事は業務の幅がとても広く大変なこともありますが、それだけ自分の知見を広げられます。現在の業務は、住民の生命や財産に直結するため責任は大きいですが、安全・安心な社会づくりに貢献できることにやりがいを感じています。



安全・安心な
社会づくりに直接貢献
できることが魅力。

熊本を好きな人が
様々な分野でやりたいことを実現
できる県を目指す。

行政(民間企業等経験者)

商工労働部 産業支援課 令和3年入庁

入庁後、デジタル戦略推進課に所属し、システムの調達業務に携わりました。県および県内市町村の職員が共同で利用するシステムでしたので、効率化や安全性に一切の妥協を許さず取り組みました。今では、いちユーザーとして利用する中でシステムの利便性の良さを実感しており、あの時頑張った良かったと思っています。現在の所属では、本県の産業振興につながる様々な施策に携わることができています。自分の頑張りが県全体の発展につながることにやりがいを感じながら、今後も業務に邁進していきます。

警察行政・警察事務

県警本部 警務部 警務課 平成29年入庁

「人の役に立つ仕事をしたい」と思い公務員を目指す中で、警察行政の仕事を知りました。現在の業務は、警察官・一般職員の採用事務、非常勤職員の任用管理のほか、学生をはじめ多くの方々に警察業務の魅力を知ってもらうための取組みの企画・立案など多岐にわたります。また、全職員が日常的に使用する人事・勤務・健康管理等のシステムの運用開始に携わったこともあり、幅広い業務の中で様々な部門を経験できることにやりがいを感じています。犯罪捜査に直接携わることはありませんが、警察官とは違う角度から熊本の治安維持に貢献していきたいです。



自分の頑張りが、
県民の安全な暮らしに
つながることを実感。



次世代を担う児童生徒の
成長を支える。

教育行政・教育事務

熊本県立人吉高等学校五木分校 平成31年入庁

青少年の立ち直り支援に関わるボランティア活動を通じて教育環境の大切さを痛感し、教育行政職を志しました。現在は、『人吉高校五木分校』で事務室業務全般を担っています。授業料無償化をはじめとする生徒支援業務、予算の管理運営、校舎の改修や維持管理など、教員とは異なる視点で学校運営に携わり、生徒・保護者はもちろん、地域住民にとっても魅力的で、より良い学校づくりを目指しています。次世代を担う児童生徒の成長のために、私も成長し続けます！

悩みを抱える親子に寄り添い、
社会的自立をサポート。

心理判定員 子ども総合療育センター

令和2年入庁

子ども総合療育センター診療部で子どもの発達検査や知能検査、個別の心理面談をはじめ、保護者を対象にお子さんとの関わり方について学ぶ勉強会などを担当しています。子どもたちとの面談を重ねる中で成長を感じられると嬉しく、「心理士としてもっと見識を広げたい」と、やる気が湧きます。県庁の心理職は心理士が複数人いる職場が多いため、いつでも気軽に相談できます。恵まれた環境でさまざまな経験を糧に成長し、悩みを抱える親子に寄り添いたいです。





専門的な分野で、
熊本の発展と県民の
暮らしに貢献できます。



動画で観る

総合土木
(一般土木分野)

阿蘇地域振興局
土木部 工務課 令和2年入庁

平成28年熊本地震のニュースで見た緊急災害対策派遣隊に興味を持ち、土木の世界に入りました。私は他県出身ですが、小さい頃からなじみのある熊本の役に立ちたいと思ったのが入庁のきっかけです。現在は、河川や砂防の工事や管理などの業務に携わっています。周りの先輩方や関係する方々がとても優しく、入庁前に感じていた不安はすぐに無くなりました。目標とする先輩方のように、住民の目線に立ち、感謝を忘れずに日々の業務に取り組んでいます。

女性が少ない土木職への不安は
先輩や関係者のサポートで解消。



地域の農業課題と向き合い、
営農環境を総合的にマネジメント。

総合土木 農林水産部
(農業土木分野) むらづくり課 平成29年入庁

実家が農業を営んでおり、「行政の立場から営農の手助けをしたい」と思い入庁を志しました。現在は生産条件が不利な地域で農業生産活動を継続するための支援制度「中山間地域等直接支払制度」に基づき、交付金の申請業務などを担当しています。特に中山間地は高齢化や後継者不足などの課題を抱えています。この制度を活用することで農家の方が「もう1年頑張ってみよう」と思うことは、農地の維持につながりますので、「県の農業を下支えしている」という誇りを持って頑張ります。



憧れの建築家と共に仕事ができる
くまもとアートポリス事業を推進。

建築 土木部 建築課 令和3年入庁

前職では民間の建物の設計・監理をしていましたが、様々な視点で携わることができる公共施設の整備や、県が取り組む「くまもとアートポリス」事業に興味があり入庁しました。令和2年7月豪雨の被災地では、住民の方と意見交換しながら「みんなの家」を整備。また、「アートポリス建築展2024」の一環で、台湾・韓国からの参加者を含めたバスツアーを開催。無事に遂行できた時などに、とてもやりがいを感じました。仕事の充実とともに、育児時間休暇など、子育て支援制度を利用して子どもとの時間をしっかり取れることも魅力です。

県保有施設を利用する誰もが
心地よく使える場の提供を目指して。

電気

土木部 営繕課 令和4年入庁

就活時に電気職の募集が無く、一度は県職員になることを諦め国家公務員に。その後、他県への転勤が決まったタイミングで「より良い熊本を創りたい」という思いが再び胸に込み上げ熊本県庁への入庁を目指しました。現在、新築される熊本県消防学校の電気設備に係る設計を行っています。大きな工事となるため大変なこともありますが、これから消防士になっていく方々の背中を押せるような施設を完成させるために取り組んでいます。



機械の知識を日々アップデートし、
より利用しやすい施設づくりに応用。

機械 土木部 営繕課 平成31年入庁

「熊本地震で傷ついた郷土を元気に戻すお手伝いをしたい」と思い、一般企業からの転職を決めました。入庁後は天草空港で施設管理業務に携わり、航空機の安全な運行に尽力。現在は施設のエアコンやトイレの改修をはじめ、新築施設の機械設備工事の発注、設計委託業務に携わっています。この業種の技術革新はめざましく、常に新しい情報をインプットするようにしています。得た知識は県民の暮らしやすさに直結するため、今後も成長し続けたいです。



熊本の農業を支え、 盛り上げるやりがいを実感。

農学 芦北地域振興局
農林部 農業普及・振興課
平成31年入庁

水保・芦北エリアのお茶農家の方々への栽培技術支援やお茶のPR活動支援を行っています。入庁当初は担当品目に関する知識がゼロからのスタートでしたが、研修や若手の育成制度が充実しているため、徐々に知識を蓄積。2～3年経つ頃には市町村・JA・農家の方々と共に、地域の課題への解決策を見出せるようになりました。入庁から5年経った今は、日々の業務が地域の農業振興につながっている手応えを感じています。元々、育種に興味があり「県の農業研究センターで働きたい」という思いを抱き入庁を目指しました。技術系職員にとって、「活躍するフィールドが幅広い」という点は県庁の魅力の一つです。今後は、大学で学んだ知識と業務を通して培った経験を生かして農業に関する研究にも携わり、熊本の農業を支えていきたいです。



バラエティに富んだ 熊本の畜産業振興に貢献。

畜産 熊本県立農業大学校
農学部畜産学科 平成27年入庁

入庁以前は民間の食肉の流通会社で勤務。その中で、もっと生産現場に近い仕事がしたいと考え入庁を決意。入庁後は、阿蘇地域での普及指導員、畜産研究所での研究員、本庁での行政業務を経て、農業大学校で教官として勤務しています。本校では、将来農業を担う農業者の養成のため、肉用牛や乳用牛の飼養管理技術、繁殖技術、畜産経営などを学生に指導しています。県内の農家戸数は年々減少しており、農業の担い手を育てる本校の業務は、非常に責任のある仕事と感じています。

県民ファーストで 地元が抱える水産の課題を解決。

水産 農林水産部 水産振興課 平成31年入庁

他県市役所で水産専門職として業務に携わっていましたが、外から郷土・熊本を見ることで「魅力発信の一翼を担いたい」という思いが高まり入庁を希望しました。主な業務は、水産資源を増やすための種苗放流への補助や、本県の貴重な資源であるアサリをはじめとする水産資源回復につなげるための事業に携わっています。水産は海から川まで対象範囲が広く、エリアによって特色もさまざまです。それぞれが持つ課題解決に向けて、身を引締め向き合っていきたいです。



森を適切に維持することで 安心して暮らせる 豊かな地域を育む。

林学・林業 林業研究・研修センター
平成29年入庁

自然災害により地元の山々が崩れてしまった光景を目の当たりにし、災害復旧に携わるとともに「災害に強い森づくり」を実行していきたいと思い入庁を決めました。現在はスギ、ヒノキなどの林業用種苗の育林・育種に係る研究を担当。国民の多くが罹患している花粉症対策に関わる研究であるため、常に学ぶ姿勢とニーズに合わせた情報収集を大切にしています。また、林学・林業職は、林業経営や林業普及に携わる業務をはじめ、治山事業、林道をはじめとする森林土木、野生鳥獣や自然環境保護など、幅広い業務を担っています。今後も自然と触れ合い四季を感じながら心ゆたかに働き、県土の6割を占める森林を適切に維持することで、水源の涵養、災害防止、地域の課題解決につなげていきたいです。



地球にやさしい行動を促し 豊かな環境を守り、次世代につなぐ。

化学 環境センター 平成25年入庁

熊本県の環境問題に関わることができる職場を模索し、たどり着いた結論が最前線としての県庁でした。現在所属する「環境センター」は、水俣病の経験から環境問題について正しい理解と認識を深め、快適な環境の保全・創造に関する意識の高揚を図ることを目的に設立。ここでは、イベントの企画・運営や、環境教育の支援などを行っており、中でも、330校以上ある県内すべての小学校の5年生が訪れる事業に携わっています。日々会う子どもたちが、将来の熊本を創造していくと思うと、とても大事な仕事を担っていると感じます。夢は「生まれ育った熊本で環境を守る仕事に携わり、美しい空を次世代に引き継ぐ」ことです。



専門知識を生かし、
他の職種と連携して
多様な業務に取り組みます。



動画で観る



健康づくりを通して 安心して暮らせる 地域づくりへ。

保健師

玉名地域振興局 保健福祉環境部
(有明保健所) 保健予防課 平成28年入庁

県の保健師は、業務の幅が広くとても責任のある仕事ですが、様々な角度から地域住民の皆さんの健康保持・増進や公衆衛生に関わることができるのが魅力です。また、働く場も協働する関係者も多岐に渡りますが、迷った時には相談するとみんなで悩み、一緒に考えてもらえることはとても心強いです。普段の業務では、根拠に基づいた対応を行うことと、個人としてではなく組織として公平な立場を意識しながら、相手に寄り添った対応をすることを大切にしています。



医療的な視点はもちろん
療育や福祉の学びも
多く得られる環境。

看護師 ども総合療育センター 令和3年入庁

以前は民間病院に勤めていましたが、退院支援に携わる中で「患者やその家族の困りごとを解決する制度をもっと知りたい」と思い入庁を希望しました。現在は肢体不自由またはその疑いがあり手術や医療処置を必要とする子どもたちの治療や介助などを行っています。大切にしていることは、子どもたちが安心してより快適に過ごせるように、小さな変化にも気づく目を持つことです。一人ひとりの目線に合わせて術後のリハビリをサポートし、退所を見送る事が何よりの喜びです。



働きながら
幅広い経験を積み、
様々な分野に挑戦できる。

管理栄養士 球磨地域振興局 保健福祉環境部
(人吉保健所) 保健予防課 令和2年入庁

管理栄養士の資格を最大限に生かせる環境を模索する中で、幅広い世代に対してアプローチできる県庁の仕事に興味を持ちました。主な業務は特定給食施設指導や食品表示に関する相談・指導など。中でも健康に配慮したメニューや健康づくりに関する情報を提供している飲食店を指定する『くま食健康マイスター店事業』は、県民の皆さんが健康づくりに取り組みやすい環境整備につながるためやりがいがあります。今後は、本庁や県立病院での業務も経験し、活躍の場を広げたいです。



広い視点を持ち、
県民の福祉に役立てる。

社会福祉 清水が丘学園 平成31年入庁

清水が丘学園は、熊本県内唯一の児童自立支援施設です。様々な課題を持つ子どもたちと寝食を共にしながら支援を行っています。前職では民間病院で相談員として15年勤務。県職員として思うことは、一つひとつの仕事の先に常に県民がいるということ。目の前の一人の子どもを支援することが、その子の家族や学校の友人、先生や地域住民、町全体など、広く県民の福祉につながっていると感じます。今後も広い視点を持って、県の福祉に役立つよう取り組んでいきたいです。



専門知識を生かし、
多種多様な業務で活躍できる。

薬剤師

上益城地域振興局 保健福祉環境部
(御船保健所) 衛生環境課 令和2年入庁

前職の民間企業で県の制度設計支援に携わる機会があり、「今後は地域社会の基盤づくりに直接貢献したい」と感じ入庁を志望。新型コロナウイルス感染症拡大時は、医療従事者などを対象としたワクチンの優先接種に関わる事業を担当。県民の皆さんが安心して希望をもって暮らせる日々を取り戻せるよう、正確かつ迅速な接種体制の構築に努めました。今後も医療・薬事・公衆衛生分野で専門知識を生かし、より良い熊本をつくりあげたいです。



県民の公衆衛生や食の安全を
守るのが私の役目。

臨床検査技師

天草広域本部 保健福祉環境部
(天草保健所) 衛生環境課 平成31年入庁

飲食店などの食品営業許可や営業者向け講習会の実施をはじめ、EU向け輸出水産食品の製造施設の監視・指導などを行っています。食品業界は常に新しい提供スタイルが登場するため私の知識もアップデートが求められます。その分、携わった飲食店が開店したり、商品が店頭と並んでいたりするのを見つけた時は大きな達成感を得られます。県の臨床検査技師は食品衛生、環境衛生、病院など幅広い分野で活躍できます。私もキャリアアップを明確に持ち、成長していきたいです。



研修と経験を重ね、
安心できる療育を提供。

保育士 ども総合療育センター 平成27年入庁

熊本県ども総合療育センター通園(くまのこ園)は、障がいのある就学前児童と保護者を支援する療育施設です。早期療育に重点を置き医療部門との連携のもと、家族の育児不安を少しでも軽減できるように支援しています。保護者の方からいただいた「家族以外で初めて味方になってくれる安心できる場所でした」という言葉が心の支えになっています。今後も一人ひとりに合わせた療育を提供し続けるために、児童発達支援管理責任者になるための講習を受講中。研修と経験を重ね、頼れる保育士になりたいです。



畜産王国・熊本で
農家の生産性向上に
携わるやりがいのある仕事。

獣医師

天草家畜保健衛生所 平成27年入庁

県職員の獣医師は、食品衛生のほか、動物愛護や家畜改良など様々な業務に携われる点に惹かれ志望しました。現在は、家畜の健康を維持し生産性を高める家畜衛生と、伝染病の発生を予防し蔓延を防ぐ家畜防疫業務を担っています。いずれも農家の経営に直結するため、関係機関の方々との密なコミュニケーションと、情報提供に努めています。入庁後に牛の繁殖検診技術を習得。初めて妊娠鑑定を行った子牛が生まれた時の感動は忘れません！

Message

若手先輩職員インタビュー

仕事や生活を通じて熊本の魅力を再発見。 熊本県内をフィールドに広く大きな仕事をしよう！

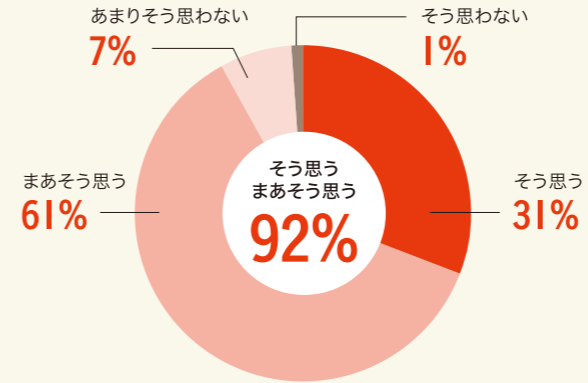
仕事のやりがいや職場の雰囲気など、
県内各地で活躍する若手職員に本音を直撃！



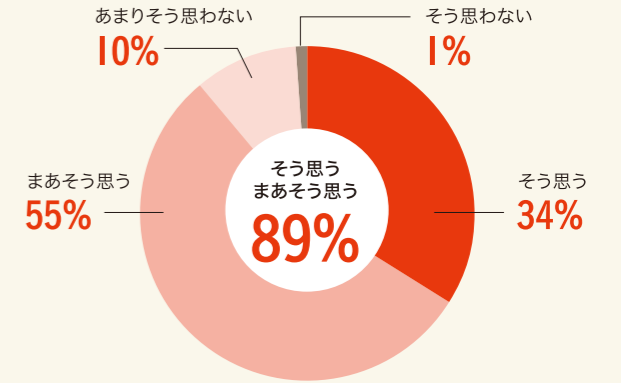
入庁1年目から3年目職員を対象としたアンケート結果

(令和6年実施)

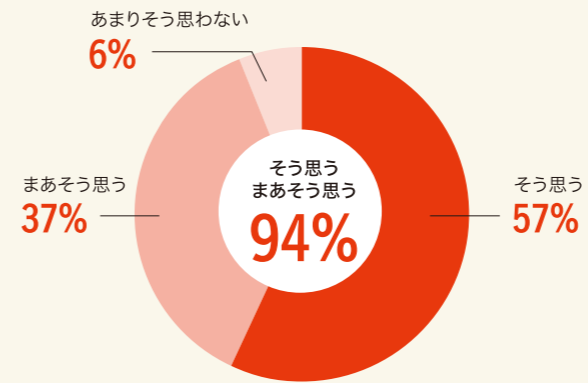
熊本県職員になって
良かったと思いますか？



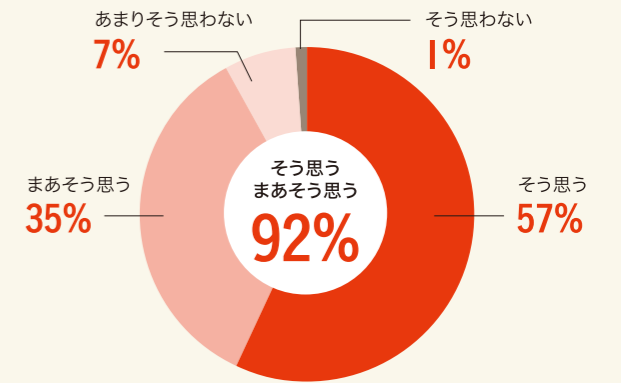
熊本県職員の仕事に
やりがいを感じますか？



職場の人間関係は
良好ですか？



上司や同僚に
相談しやすい環境ですか？



本庁

熊本市中央区水前寺に位置し、行政棟本館・新館、議会棟、警察棟、防災センターで構成。
県庁正面にあるプロムナードのイチヨウ並木は、秋には辺り一面を黄金色に美しく染める。

Message
様々な自治体へ行って
その地域の方と関われ
る仕事は、県ならではの
魅力です！



イベントブースで「阿蘇」の魅力を積極的にPR

県職員の魅力は？

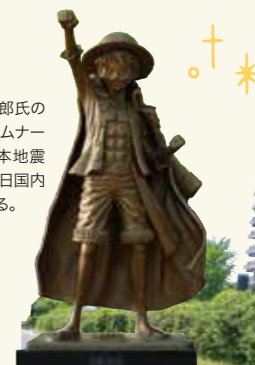
熊本県出身ですが、世界遺産に関する仕事を通して熊本のことをより深く知ることができるのが楽しく、貴重な経験をさせてもらえることがうれしいです。私が英語に興味があることを知った上司からの提案で、英語のパンフレットの作成やデザインに挑戦したこともありました。入庁2年目でも、成長のためにとらせてもらえることにやりがいを感じています。

行政・一般事務 阿蘇草原再生・世界遺産推進課 Sさん

県内の世界文化遺産「万田坑」、「三角西港」、「天草の崎津集落」の保全と活用、世界文化遺産登録を目指す「阿蘇」のPR業務を担当。

熊本県出身の漫画家・尾田栄一郎氏の県民栄誉賞を記念して県庁プロムナードに設置された「ルフィ像」。熊本地震からの復興のシンボルとして、連日国内外から多くの観光客が訪れている。

©尾田栄一郎/集英社



熊本のシンボルである「熊本城」をはじめ、国宝に指定された日本最大級の石橋「通潤橋」や日本の夕陽百選に選定された「御輿来海岸」など、歴史と自然が融合する地域。



Message
女性検診費用の補助など、自分自身の健康を大事にできる制度があるのも魅力です！



バレーボールで職場のチームワークもUP!

同僚との交流は？

異動に伴いこれまでの業務内容とガラリと変わるため、最初は慣れるまで大変でしたが、課税第二課では班全員が同じ業務内容をやっているの、質問や相談しやすい環境です。また、庁内の職場対抗バレー大会にも参加しているのですが、若手から所属長まで和気あいあいと楽しめ、普段の業務での良好なコミュニケーションにもつながっていると思います。

行政・一般事務 県央広域本部 総務部 課税第二課 Oさん

入庁4年目。入庁して最初の配属は子ども家庭福祉課。現在は課税第二課で熊本市、宇城・上益城管内の不動産所得税の課税業務を担当。



Message
入庁後1年間はトレーナーの先輩がついて一から教えてもらえるので、安心して働けます！



県職員を目指したきっかけは？

土木職で様々な経験をしたいと考え、異動もあり幅広い業務に携わることができる県職員を目指しました。自分が関わった仕事が残るのが土木部の魅力。公園へ行った時に、このベンチは隣の班の人が担当したなど、生活の中で業務の成果を身近に感じられます。これから異動もありますが、様々な土地のことを知れるのが今から楽しみです。

総合土木 県央広域本部 土木部 工務管理課 Oさん (一般土木分野)

入庁1年目。現在は益城町、甲佐町、御船町、嘉島町の道路や港湾、公園等の工事を担当。土木部の職場対抗野球大会にも出場し交流を楽しんだ。



毎年熱戦が繰り広げられる「土木部野球大会」



世界最大級のカルデラを持つ活火山「阿蘇山」や国指定重要文化財「八千代座」、歴史ある温泉や渓谷など、雄大な自然が生み出す四季折々の景色に魅了される地域。



Message
地域住民のために形に残せるやりがいのある仕事です。ぜひ挑戦してほしいです！



管轄する合志市内でいちご狩りイベントに参加

地域に住んでみての感想は？

生まれ育った熊本は私にとってちょうどいい規模感だということを再認識し、地元のために働きたいと入庁を目指しました。はじめての配属先は菊池市。実はそれまで訪れたことが無かったのですが、エネルギッシュな住民が多いと感じます。地域のイベントに参加したり顔なじみのお店ができたり、自分のふるさとが増えていく感覚がうれしいです。

総合土木 県北広域本部 土木部 工務第一課 Sさん (一般土木分野)

入庁2年目。総合土木職として、現在は河川砂防の工事の発注と監督業務などを担当。大学進学で東京に出たことで熊本の魅力を再認識した。

Message
新規採用職員へのフォローはもちろん、子育てを応援してくれる環境が整っています！

地域に住んでみての感想は？

前職での経験から地域における保健活動に興味を持ち、家族の応援もあり入庁を目指しました。配属先が決まると同時に家族で山鹿市へ引っ越し。元々温泉が好きなこともあり、休日はよくみんなで地域の温泉に行ったり、溪流や釣り堀、公園へ行ったりと、遊ぶ所には困りません。自然も多く、子どもにもいろんな体験をさせてあげられるのがうれしいです。

保健師 鹿本地域振興局 保健福祉環境部(山鹿保健所) 保健予防課 Iさん

看護師として病院で4年間、保健師として地域包括支援センターで6年間勤務。現在は精神保健福祉対策やHIV検査等に関する業務を担当する。



入庁前後のイメージの変化は？

私は事務職なのでデスクワークがメインだと思っていましたが、実際には地域の方と直接お話する機会も多いです。業務の幅が広く異動もありますが、「なんでもやりたい!」という思いで楽しく仕事をしています。最近は週に一回温泉に行ったり、仕事帰りに近所の足湯に寄ったりなど、その地域に住んでいるからこそその楽しみを満喫しています。

行政・一般事務 県北広域本部 土木部 用地第三課 Iさん

入庁2年目で用地第二課から第三課へ異動。中九州横断道路に関する用地買収業務を担当。県庁の野球部「球友会」のマネージャーを務める。



山鹿市の観光名所「不動岩」からの見晴らしは最高!



県庁野球部「球友会」メンバーとの1枚



「仕事もプライベートも子育ても頑張りたい」 そんな職員を熊本県は全力で応援します！

行政・一般事務 総務部 市町村課 【長女3歳】

民間企業経験者採用で入庁しました。県庁の魅力の一つは「子育て支援が手厚い環境」であると感じます。例えば、時間休暇が認められているため、子どもの発熱等の急な体調不良にも、1時間単位で休暇を取得し、半日交代で夫と看病を分担するなど、柔軟に対応することができます。また、本県は、県内企業に対して、子育てと仕事の両立支援を行う立場として、先頭を切って環境整備に努めており、「何かあったらお互い様」の精神で協力しあう土壌が醸成されている点も魅力です。

入庁3年目で子どもを授かり、産前休暇1か月半と育児休業1年半を経て復帰。3歳になるまで1日1時間の育児時間休暇を活用しました。復帰後は、業務スケジュールの見える化に取り組み、急遽休む必要が生じた場合でも同僚がフォローしやすい体制を確立。結果的に仕事の効率化にもつながり、好循環が生まれました。復帰後に携わった南阿蘇鉄道の熊本地震からの災害復旧が完了し、全線開通後に家族で乗りに行ったことはかけがえのない思い出です。

入庁から現在までの経緯

- 平成31年 ● 企画振興部交通政策課
- 令和 3年 9月 ● 産前休暇取得
- 令和 3年10月 ● 出産
- ～令和5年3月 ● 産後休暇+育児休業
- 令和5年 4月 ● 職場復帰
- 育児時間休暇取得(1日1時間)
- 令和6年 4月 ● 総務部市町村課

現在



子育てしやすい制度と
 活用しやすい雰囲気。
 両方ある恵まれた環境です。



子育てを楽しんでいます。
 心に余裕を持って
 制度をフル活用し

行政・一般事務 土木部 下水環境課 【長男7歳、長女3歳、次男0歳】

「男性職員の育休文化の定着」を目標に令和5年からスタートした「ハッピーシェアウィークス」を活用し、次男が生まれた時に2週間、さらに小学1年生の長男が夏休みに入るタイミングで1か月間、休暇を取得しました。子どもの初めての瞬間に多く立ち会えたのはもちろん、上の子の登校・登園をはじめ家事全般をサポートすることで妻の負担も軽減。お互い心に余裕をもって、楽しみながら家族を迎えることができました。また、宿題を一緒にしたり、公園で遊んだり、子どもと歩幅を合わせることで、いい充電タイムになりました。

県庁の魅力は、子育て支援制度をフル活用して、生き生きと働いている先輩職員が大勢いることです。皆さんをロールモデルに将来のライフプランを描きやすく、現在は1時間早く時差出勤。おかげで帰宅後は、入浴介助という至福の時間を過ごせています。今後、子どもが3歳になるまで育児時間制度を利用し、妻のワークライフバランスも考慮しながら働いていきたいです。時短する分、仕事の効率化は必須。仲間との連携力と先を見越し段取る力をしっかり磨き、仕事も家庭も充実させていきたいです。

ある日のスケジュール

- 6:00 ● 起床、朝食、登園準備
- 8:00 ● 子ども2人をそれぞれ別の保育園へ送る
- 8:45 ● 登庁、業務開始
(時差出勤8:00開始+育児時間休暇45分)
- 12:00 ● 昼休み
- 13:00 ● 午後の業務開始
- 16:00 ● 業務終了、退庁
(時差出勤16:45終了+育児時間休暇45分)
- 16:45 ● 子ども達を保育園へお迎え
- 17:00 ● 帰宅、子ども達と外遊び
- 18:00 ● 夕食、入浴、子ども達と内遊び
- 21:00 ● 就寝



ライフステージに応じた 多様な働き方を可能に

～ 2人が活用した制度紹介 ～

時差出勤

始業時間を変更することで、出勤時の混雑回避、子育てや自分時間を確保



※勤務時間は7時間45分

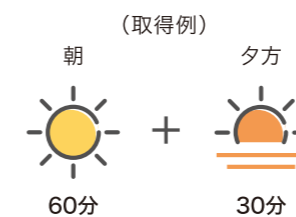
ハッピーシェアウィークス

男性職員の育児に関する
 休暇・休業取得促進プログラム
 男性職員が子の誕生日後2月以内に、
 休暇等を合計で14日以上取得



育児時間休暇

子が3歳になるまで、1日を通じて90分まで取得可能(有給)



人材育成 Human resource development

職員の挑戦・成長をバックアップ

新規採用職員へのサポートをはじめ、各種機関への職員派遣、多彩な研修機会の提供などを通じて職員の挑戦と成長を後押しします。

知事部局の場合、入庁後10年程度は様々な経験を積んで、広い視野や知識・技術を身に付けるとともに、新たな適性の発見を行うため、幅広い分野・職場へ配属されます。

県職員のキャリアパス



新規採用職員は本庁または出先機関（地域振興局等）に配属されます。技術職については、それぞれの専門的知識を活かした部署に配属されます。

主事・技師級

主任主事・主任技師
主事・技師



係長級

参事

異動サイクルは、職種によって異なりますが、概ね3年～4年程度です。

課長補佐級

課長補佐
主幹

課長級

課長
審議員

次長級

局長
首席審議員

部長級

部長
総括審議員



営業部長兼しあわせ部長

くまモン

職場の雰囲気



新館の各階フロアの大半が、フリーアドレスを採用。本館も移行できる部署から順次取り入れていて、隣接する席や他部署との自然な交流からイノベーションの創出機会が生まれています。特に取材した男女参画・協働推進課は、ポップな色使いのチェアやデスクが映え明るい雰囲気。打合せが長引かないようにスタンディングスタイルのデスクを採用するなど、仕事の効率化につながる工夫も光ります。

◀男女参画・協働推進課の様子

新採トレーナー制度でしっかりサポート

「初めてのことは誰でも分からないのが当然」。入庁1年目の新規採用職員（新採職員）の多くは、初めて社会人として働くことから、環境の変化や業務に対する不安や悩みを抱えることがあります。本県では、そうした新採職員が安心して業務に取り組めるようサポートする「新採トレーナー制度」を導入しています。採用日から1年間、同じ職場の先輩職員が新採トレーナーとなり、新採職員に対して助言や指導を行います。



所属長からのメッセージ

新規採用職員と年齢の近い先輩職員がトレーナー役を担うことで、業務についてはもちろんプライベートなことまで、社会人生活をスタートする上で感じる不安や悩みを気軽に相談できます。また、「後輩への指導を通してトレーナーも成長できる」という声もあり、お互い高め合う好循環が生まれています。親身になって相談に乗ってもらった経験は「私が先輩になった時にも頼られる存在に」という意識を醸成し、「チーム熊本県庁」として支え合う環境につながっています。

課長



新採トレーナー

県庁は配属先も業務内容も多岐にわたるので、入庁前はどんな準備をしたらいいかわからず、少し不安でした(汗)

入庁後すぐに新採トレーナーがつくことで不安は解消できた？

はい、とても！特に仕事で使用する用語がよくわからず最初は戸惑いましたが、ちょっとしたことで丁寧にアドバイスしていただいて、助かりました。おかげで、私も躊躇せず相談できました。

実は、私もトレーナーになるのが初めてだったから、ちゃんと指導できるのか最初は不安だったんだよ(笑)。でも、私自身も初心を思い出して仕事に対する熱意が高まったし、曖昧な理解は根拠から調べ直すいい機会になったと思う！

あと、県庁は入庁直後から比較的大きな事業に携わらせてもらえますよね。最初は「自分にできるかな……」と思いましたが、先輩のサポートのおかげで、やりがいを感じながら大きな経験を積むことができました！

仕事は大変なこともあるけど、先輩や上司のサポートがしっかりあって、職場の雰囲気もいいと「楽しい！」って思えるよね。今感じていることを、今度はトレーナーとして後輩に伝えられるようになってほしいな。

はい！頼られるトレーナーになれるように、成長していきます！



新採職員

各種機関への職員派遣

国(省庁)、他自治体や大学院等への派遣を通じて、職員のスキルアップを後押し。身に付けた幅広い視点や高い専門性等を、熊本のために活かしていく。



厚生労働省へ派遣

広い視野で考え、実行することの大切さを学びました。

行政・一般事務

健康福祉部 健康福祉政策課

平成28年 企画振興部企画課
平成30年 球磨地域振興局総務振興課
令和 3年 厚生労働省子ども家庭局総務課
令和 4年 健康福祉部健康福祉政策課

上司から「国の動きを知ることは今後の糧になる。行ってみたいか?」と声をかけてもらい、派遣を決めました。「行政」という広い括りの中でやるべきことは変わりませんが、派遣当初は仕事量と決定までのスピード感の違いに圧倒されっぱなしでした。1年間、精一杯くらいつくことで実感したことは、広い視野を持って課題に向き合い、目指す方向性を定める大切さです。そうすることで、膨大な情報の中から重要なものを精査でき、判断・実行までのスピードが格段に上がりました。

長崎県へ派遣

外から熊本を見ることで、魅力を再発見。

行政・一般事務

観光文化部 観光振興課

平成29年 総務部私学振興課
平成31年 天草広域本部土木部技術管理課
令和 4年 長崎県企画部政策調整課
令和 6年 観光文化部観光振興課

長崎県へ派遣された2年間では、九州及び全国知事会の準備を担当しました。自県の発表内容等をまとめるのが主な役割でしたが、「発表＝他県へのアピール」となるため、各部署との調整が難航することもあり、無事に終わった時には大きな達成感を感じました。また、外から熊本を見ることで多彩な魅力を再発見。特にくまモンが及ぼす波及力の大きさを実感しました。熊本が持つポテンシャルを最大限に活かし、地域を盛り上げる観光コンテンツを作っていきたいです。



多彩な研修制度

県職員として必要な意識の醸成や、業務遂行能力の開発を目的とした研修制度が充実。必修研修に加え、自主的に受講できる研修機会を提供し、職員の成長をサポートする。



必修研修

新規採用職員研修のほか、2年目、4年目、7年目、10年目、新任管理職等、各階層別に研修を行い、職員として求められる意識の醸成や能力開発をサポートします。

新規採用職員研修

県職員としての意識の醸成、社会人としての基本的マナーや知識・技術を身につけるため、年3回の研修で社会人としてのスタートを支援します。現地見学やグループワークでの討議を通じて、県民の視点で考えることの重要性を学ぶとともに、新規採用職員同士の連帯感と協調性を培います。

特別研修

特定の役割・課題に関する研修を行い、個々の役割に基づく円滑な業務遂行をサポートします。

レベルアップセミナー

社会情勢が目まぐるしく変化し、地方自治体が対応すべき課題が変化中、求められる県及び県職員にレベルアップするため、その時々に合わせてスキルやマインドを学び、今後の社会の在り方について改めて考える契機とします。

選択研修

様々なテーマの中から、個々の業務ニーズや強み・弱みに応じて研修を受講することができます。職員一人ひとりの主体的な能力開発をサポートします。

スキルアップコース

「分かりやすい資料づくり」、「タイムマネジメント」、「プレゼンテーション」など、業務に直結する研修を多数準備しており、職員一人ひとりが受講したい研修を選択することができます。自分自身のスキルアップに加え、各業務に必要な知識・技術を習得します。

自己啓発支援等

自らの成長のために努力する職員をサポートします。

eラーニング

時間や場所に制約されず、職員各々のニーズに応じた知識・能力の向上を図るため、eラーニングによる学習機会を提供します。仕事の進め方からPCスキルや語学力など、業務に活かせる様々な講座を受講することができます。

採用担当からのメッセージ

私たち熊本県職員は、県民の暮らしを支え、県民の幸せにつながる仕事を誇りに思っています。
あなたがひらく未来に向かって、動き始めているこの瞬間を大切にしてほしい。
この1冊が自分自身の気持ちと向き合い、これからの未来を考えるきっかけにつながることを願っています。

